



成文



尼崎市立成文小学校
学校・学年通信
10月号



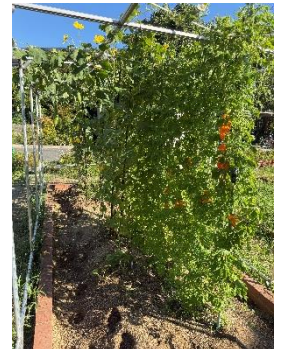
ホームページアドレス <https://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>



人とのつながりを大切に

校長 岩崎 あやの

2 学期が始まり、あっという間に 1 か月が過ぎました。朝晩は涼しさを感じるようになり、少しずつ秋らしくなってきました。季節の変わり目は、気温の変化によって体調を崩しやすい時期でもあります。規則正しい生活を心がけ、元気に学校生活を送ってほしいと思います。



4年生は、理科の学習で、年間を通して生物や植物の観察をしています。学校の花壇では、ヘチマやツルレイシが立派に育ちました。地域の方々の協力もあり、大きく育った実には、たくさんの子

さて、9月7日～11日まで、5年生は、山々に囲まれた自然豊かな「美方高原自然の家」へ自然学校に行ってきました。子どもたちは、沢登りや野外炊事、ネイチャービンゴなど、学校ではなかなかできないさまざまな体験に取り組み、豊かな自然を満喫することができました。

自然学校では、楽しい体験だけでなく、仲間と協力することや、自分で考えて行動すること、そして、集団の中で互いを思いやることの大切さも学びます。学校とは全く違う環境で 5 日間の集団生活を送ることができたのは、美方高原自然の家の職員の皆さんをはじめ、看護師さん、リーダーさんなど、多くの方々の温かい支えがあったからこそです。

リーダーさんたちは、短い期間でしたが、子どもたちに寄り添いながら、「成文小学校の子どもたちのために」と考え、活動を支援してくださいました。誰かが自分たちのために準備をしてくれている。誰かが困らないように支えてくれている。そのことに気づいたとき、自然と「ありがとう」という感謝の気持ちが生まれます。

今回の自然学校に限らず、私たちの毎日の生活や活動には、実にたくさんの人が関わり、目に見えないところでも支えてくださっています。何かうまくいかないことがあったとき、周りの環境や人のせいにしてしまうこともあるかもしれませんが、しかし、同じ状況であっても、それをどのように受け止め、どのように行動するかは、自分自身で考えることができます。周りの人や環境への感謝を忘れず、自分の気持ちの持ち方や行動を大切にしたいと思います。

これから子どもたちは、たくさんの人と出会い、そして別れていくことになります。一つ一つの出会いや経験には、きっとそれぞれの意味があります。さまざまな経験を通して、人とのつながりの大切さを感じ、時には思うようにいかないことから学びながら、心豊かに成長していったほしいと願っています。

【地域回覧チェック欄】

[illegible]